

2 学期終業式 式辞

9月のスタートでは、学年別の時差登校や昇降口での健康チェック、タブレットを使っの授業。毎年汗だくで行っていた体育祭が、肌寒さも感じる10月と、例年と違うことが、満載の2学期でした。今思うと、何か遠い昔のことも私には感じています。皆さんはどうですか？

2年続けて、例年と違うことがあり、中学校での目標としていたものを奪われて苦しんだ人も多かったと思います。

今日は式辞に入る前に特設駅伝部の部長に話をしてもらおうと思います。昨年度、東葛駅伝大会という大きな大会が中止となり、色々な部活から集まった久寺家中学校の代表としての活動が途切れました。今年こそは先輩の思いも込めてと1年間頑張ってきた駅伝部ですが、抽選会も終わった9月になって2年続けての中止となり部長も心の整理にかなり苦しんだ一人だと思います。

伝統ある駅伝大会の意味や重み魅せることのできなかつた雄姿や思いを後輩に伝えるために今日は話をしてもらいます。平木君よろしくお願ひします。

私たちは、色々な部活のメンバーが集まって1つの目標に向け練習してきました。特に今年度は、昨年度中止となつてしまひ走れなかつた悔しさや、先輩方に少しでも近づき追い越せるよう、どんなきつい練習もチーム一丸となつて取り組んできました。しかし、9月になつて今年度も東葛駅伝大会が中止と聞いたときは本当にショックでした。この大会を目指して1年間、仲間と共に目標に向かつて練習してきたことや、今年こそ走りたいなど、自分達の努力や思いが無駄になつてしまったような思いでした。他の駅伝大会はあるものの、東葛駅伝大会をゴールとして走ってきた仲間の思いが果たせなかつたことなど、今年も悔しい思いをしました。

しかし、この3年間、1つの目標に向けてチームで切磋琢磨し合ひ、お互いに成長できたことは、これからの自分たちの財産となり、一生の思い出になると思います。東葛駅伝は走れなかつたものの、関東駅伝3位という成績を残せたのは、これまでの仲間との練習の証だと思ひます。また、ここまで続けられたのは仲間や先生方の支えが大きいです。感謝を伝えるとともに、この思い出は大切にしたいと思ひます。今、コロナ禍で大会が開催されるか分かりませんが、それぞれの部活において皆さんは、お互いに声を掛け合うことを大切に頑張ってください。中学校3年間は短いですが、一生懸命努力すれば濃い3年間を過ごすことができると思ひます。応援しています。(特設駅伝部 部長)

平木君ありがとうございました。

皆さんも人それぞれに、例年通り、今まで通りの日常の大切さは感じていると思います。皆さんは、その中でもしっかりと各自の目標に向かって一歩ずつ、頑張ってきてくれました。

三年生と面接を行い、時期がずれても、形が変わっても開催できた体育祭や合唱コンクールはやってよかったと改めて感じました。人それぞれ、得意な事、不得意な事、思いの温度差があって、ぶつかり合ったり、諦めてみたり、集団から逃げたくなかった事もあったと思います。それでも最後までやり切るとなぜか結果以上に、達成感や、一体感を得て、気持ちが温かくなったのではないのでしょうか。中学校の思い出としてそのように語ってくれた三年生がとても多かったです。

「好奇心・探求心・向上心」の合言葉のもと、令和4年も、私は皆さんが、色々な事に挑戦し、やり切ることで素敵な大人に向かって成長してくれることを願っています。

この後、広島派遣に参加した2年生から報告もあります。

しっかりと聞いて原爆について考えるきっかけにしてください。

これから寒さも増してきますが、体調管理には引き続き注意して、素敵なクリスマスと年越しにしてください。
(稲村)